

第4節 注目研究開発テーマ別－研究者別論文発表件数上位ランキング

注目研究開発テーマについての研究者所属機関別論文発表件数上位ランキングを表 3-5-6 に示す。ナノカーボンに関する論文は関西大学が 28 件で最も多く、ポーランドのポズナン工業大学が 2 位、中国の中国科学院が 3 位となっている。イオン液体に関する論文は関西大学が 14 件で最も多く、日清紡ホールディングスが 2 位、イタリアのボローニャ大学が 3 位となっている。賦活法に関する論文は群馬大学と信州大学が 8 件で最も多く、オーストラリアのクイーンズランド大学が 3 位となっている。

表 3-5-6 注目研究開発テーマの論文発表件数上位ランキング（全論文誌）

a) ナノカーボン

順位	研究者所属機関名(国籍)	発表件数
1	関西大学	28
2	ポズナン工業大学(ポーランド)	19
3	中国科学院(中国)	16
4	信州大学	15
5	延世大学(韓国)	13
6	ソウル大学(韓国)	12
6	清華大学(中国)	12
6	日立造船	12
9	オルレアン大学(フランス)	11
9	産業技術総合研究所	11
9	南京航空航天大学(中国)	11

b) イオン液体

順位	研究者所属機関名(国籍)	発表件数
1	関西大学	14
2	日清紡ホールディングス	11
3	ボローニャ大学(イタリア)	8
4	山口大学	7
5	ポズナン工業大学(ポーランド)	6
5	九州大学	6
5	三菱化学	6
8	ポール・シェラー研究所(スイス)	5
8	群馬大学	5

c) 賦活法

順位	研究者所属機関名(国籍)	発表件数
1	群馬大学	8
1	信州大学	8
3	クイーンズランド大学(オーストラリア)	7
4	ポズナン工業大学(ポーランド)	6
4	マサチューセッツ工科大学(米国)	6
4	中国科学院(中国)	6
7	アリカンテ大学(スペイン)	5
7	関西大学	5
7	九州大学	5
7	国立成功大学(台湾)	5
7	国立中正大学(台湾)	5